

「越境地域のプロスポーツ商圈に関する研究」

Analysis of Professional Sport Market in Cross-Border Region

元 晶煜 (愛知大学)
Won Jung-uk (Aichi University)

要旨： 本研究では、越境地域（三遠南信地域）のプロスポーツ市場の現状を把握するための基礎的なデータを得ることを目的とし、同地域を対象にインターネット調査を行った。調査の結果、「好きなプロスポーツ」は、「遠州地域」はプロサッカー、「東三河・南信地域」はプロ野球と答えた割合が比較的高かった。「プロスポーツ観戦経験と頻度」においても、「東三河・南信地域」はプロ野球と答えた割合が比較的高く、「最も好きなプロスポーツチーム」においては、「東三河・南信地域」は「中日ドラゴンズ」が145人、「遠州地域」は「ジュビロ磐田」の120人で最も多かった。このように越境地域のプロスポーツ商圈は様々なマーケットが混在していることが明らかになった。

キーワード：越境地域、プロスポーツ、商圈、ネット調査、三遠南信

1. 研究目的と必要性

プロスポーツはフランチャイズ制度に基づいており、プロスポーツ球団は、本拠地とする地域においては独占的な営業権を有する。しかし、越境地域においてはプロスポーツの商圈も多様化していることが考えられる。本研究で対象にしている三遠南信地域においても、野球（NPB）の中日ドラゴンズ、サッカー（Jリーグ）の名古屋グランパスエイト、ジュビロ磐田、清水エスパルスを含め、特にbjリーグ（日本プロバスケットボールリーグ）の浜松・東三河フェニックスは、浜松市を中心とした静岡県西部地域と豊橋・豊川市を中心とした東三河地域のダブルフランチャイズを行っている。また、静岡県の場合本拠地とするプロ野球チームが存在しない反面、Jリーグクラブは複数存在する。このような様々な状況の中で、本研究では越境（三遠南信）地域におけるプロスポーツの商圈に関する基礎的なデータを得ることを目的とし、インターネット調査を行った。

2. 研究方法

本研究では、スタジアムでの観戦者調査ではなく、インターネット調査による三遠南信地域のプロスポーツ商圈を把握するための基礎的なデータを得ることにした。

(1) 調査概要

①調査種別：スクリーニング・本調査

②配信条件 年齢：18歳～79歳 性別：男女

③配信地域

【東三河地域（愛知県東部）】

豊橋市 新城市 東栄町 豊川市 田原市 豊根村 蒲郡市 設楽町

【遠州地域（静岡県西部）】

浜松市 袋井市 森町 磐田市 湖西市

【南信州地域（長野県南部）】

飯田市 阿智村 売木村 豊丘村 松川町 平谷村 天龍村 大鹿村 高森町 根羽村 泰阜村 阿南町 下條村 喬木村

④割付

【東三河地域（愛知県東部）】

男性 18-39歳 62s 40-79歳 63s

女性 18-39歳 62s 40-79歳 63s

【遠州地域（静岡県西部）】

【南信州地域（長野県南部）】

男性 18-39歳 62s 40-79歳 63s

女性 18-39歳 62s 40-79歳 63s

合計 500s

⑤【本調査対象条件】

(SC1=2) ひいきのプロスポーツチームがある

(SC2=2,3) スポーツ観戦に行ったことがある

(SC3=2,3) テレビで（自発的に）スポーツを観る

⑥本調査実施日：2014/03/18

3. 先行研究

田島（2008）によると、プロスポーツクラブの主な収入源は①入場料、②放送権料、③スポンサー料、

④グッズの4つが代表的だが、地域密着型を志向するプロスポーツにとって今後より大きな位置を占めるのは「入場料収入」とされている。しかし、多くのプロスポーツ球団の観客動員数は伸び悩んでおり、その要因は観戦者特性をつかみきれていない点にあると指摘し、「地域プロスポーツクラブの観戦者とはどのような人なのか」を把握するために、サービス評価の視点から再観戦につながる観戦行動モデルを構築することを目的とし、プロ野球の試合が行われる6つの会場で、中学生以上を対象にアンケート調査を行った。調査の結果、チケット入手について、「はじめて」の観戦者の約半数(47.6%)が「招待券」により来場していることが明らかになった。しかし、観戦頻度が高まれば、「招待券」の利用率が下がる一方、「会場」でのチケット購入が高くなる傾向が示された。また、観戦頻度と観戦満足度、再観戦意図について分析をした結果、観戦頻度が高くなれば、満足度も徐々に高くなることがわかり(「はじめて」の観戦者より「6回以上」の観戦者の満足度の方が高い)、再観戦意図においてはさらに顕著な傾向(リピーターの77.8%は再観戦意図あり)が示された。

また、神野(2008)は近年日本のプロスポーツ界では、地域密着をキーコンセプトに多くのプロスポーツクラブが発足しているが、マーケットを地域に限定する地域プロスポーツクラブにおいては、観戦チケット収入の比重が大きくなる。そこで、クラブの安定経営に向け最重要課題となる観客動員数の確保に向け、ツエーゲン金沢の観戦者を対象に観戦行動、観戦動機に関するアンケート調査を実施し分析を行い、ロイヤリティや観戦回数などの観戦者特性の観点から考察を行った。調査の結果、ツエーゲン金沢の観戦者の「観戦動機」は、「エンタテインメント」動機が最も得点が高く、次に「偶然」、「所属」の順になっており、最も値が低かったのは「交流」であった。これらの結果が示唆するところは、ホームゲーム数に対する平均回数(3.51回)からは、地域プロスポーツクラブにおいても観戦頻度の高いコアなファンが一定数存在することが推測でき、その実態としては、家族とともに観戦するケースが最も多いことが明らかになった。また藤本(1996)は、観戦経験のある浸透市場のスポーツ観戦回数の増加戦略に注目し、プロスポーツにおける観戦回数増加に影響を及ぼす要因としてチームへのロイヤリティと考えており、プロスポーツ観戦という1種のサービス財の提供においても、スポーツ観戦者が

チームに対して高いロイヤリティをもつことによって繰り返し購入する、すなわち、繰り返し観戦するようになる可能性が高いと述べている。調査結果、チーム・ロイヤリティは将来の観戦意図だけでなく、観戦回数にも直接影響を及ぼすことが明らかになった。

上記のように、プロスポーツマーケットに関する先行研究の大半はスタジアムにおける観戦者を対象にした質問紙調査を実施し、調査内容は観戦者の消費行動や社会心理学的アプローチが主に行われてきた。しかし、本研究の目的である越境地域のプロスポーツ商圈を把握をするためには、従来の研究手法では把握することができない。そこで、本研究ではインターネット調査を用いて、越境地域におけるスポーツ市場を理解するための基礎的データを収集することにした。

4. 調査結果と考察

(1) 調査対象者の人口統計学的特性

本調査は、「ひいきのプロスポーツチームがある」、「スポーツ観戦に行ったことがある」、「テレビで(自発的に)スポーツを見る」の3つの項目に対して、肯定的な回答をした人のみ(スクリーニング)を対象にした。具体的には、「あなたは、応援しているプロスポーツチームはありますか」という質問項目に対して「ある」と答えた500人であり、「あなたは、プロスポーツ観戦に行ったことがありますか」の項目については、「行ったことはあるが、今は行ってない」が383人の76.6%、「定期的に行っている」が117人の23.4%であった。また、「あなたはスポーツをテレビで観ますか」という項目に対して「たまに観る」は291人で58.2%、「よく観る」は209人で41.8%であり、この500人を分析対象とした。

対象者500人の内訳は、男性が250人で50%、女性が250人で50%であり、年齢は18歳から79歳まで分布しており、男性の18歳から39歳が124人で全体の24.8%、40歳から79歳が126人で25.2%、女性の18歳から39歳が124人で24.8%、40歳から79歳が126人で25.2%であった。地域別の分布は、豊橋市が120人で全体の24.0%、新城市が8人で1.6%、東栄町は0人、豊川市が59人で11.8%、田原市が16人で3.2%、豊根村は0人、蒲郡市が21人で4.2%、設楽町は0人であった。また、浜松市が183人で36.6%、袋井市が18人で3.6%、森町が1人で0.2%、磐田市40人で8.0%、湖西市が8人で1.6%、飯田市が22人で4.4%、豊丘村2

人で0.4%大鹿村が2人で0.4%を占めていた。今回の分析においては、「東三河・南信地域」と「遠州地域」を比較することによって、越境によるプロスポーツマーケットの影響と現状について基礎的なデータを収集することにした。

(2) プロスポーツに関する意識調査結果

まず、「あなたの好きなプロスポーツを教えてください（2つまで）」の項目について、「遠州地域」はプロサッカーの割合が比較的高く、「東三河・南信地域」はプロ野球と答えた割合が「遠州地域」より高い結果となった（表1参照）。次に、「あなたがテレビでよく視聴するプロスポーツは何ですか」の質問に対して、「東三河・南信地域」は「プロ野球」と答えた割合が比較的高く、「遠州地域」は「プロサッカー」と答えた割合が比較的高い傾向にあることが明らかとなった（表2参照）。

表1 あなたの好きなプロスポーツを教えてください。(2つまで)

	n	大相撲	プロ野球	プロサッカー	男女ゴルフ	フットサル	プロバスケットボール	ボクシング	その他(具体的に)
【遠州地域在住】18-39歳男性	62 100.0	5 8.1	30 48.4	40 64.5	3 4.8	2 3.2	7 11.3	3 4.8	7 11.3
【遠州地域在住】40-79歳男性	63 100.0	6 9.5	44 69.8	14 22.2	1 1.6	2 3.2	3 4.8	8 12.7	7 11.3
【遠州地域在住】18-39歳女性	62 100.0	4 6.5	25 40.3	47 75.8	2 3.2	1 1.6	6 9.7	2 3.2	4 6.3
【遠州地域在住】40-79歳女性	63 100.0	4 6.3	25 39.7	39 61.9	7 11.1	0 0.0	4 6.3	4 6.3	15 23.8
【東三河・南信州地域在住】18-39歳男性	62 100.0	11 17.7	47 75.8	32 51.6	0 0.0	1 1.6	6 9.7	12 19.3	8 12.7
【東三河・南信州地域在住】40-79歳男性	63 100.0	4 6.3	51 81.0	23 36.5	14 22.2	0 0.0	2 3.2	7 11.1	9 14.3
【東三河・南信州地域在住】18-39歳女性	62 100.0	8 12.9	44 71.0	20 32.3	2 3.2	0 0.0	8 12.9	2 3.2	8 12.9
【東三河・南信州地域在住】40-79歳女性	63 100.0	6 9.5	48 76.2	21 33.3	4 6.3	0 0.0	3 4.8	4 6.3	14 22.2

表2 あなたがテレビでよく視聴するプロスポーツは何ですか。(2つまで)

	n	大相撲	プロ野球	プロサッカー	男女ゴルフ	フットサル	プロバスケットボール	ボクシング	その他(具体的に)
【遠州地域在住】18-39歳男性	62 100.0	6 9.7	30 48.4	44 71.0	4 6.5	2 3.2	3 4.8	3 4.8	4 6.5
【遠州地域在住】40-79歳男性	63 100.0	6 9.5	39 61.9	42 66.7	13 20.6	1 1.6	1 1.6	4 6.3	4 6.3
【遠州地域在住】18-39歳女性	62 100.0	8 12.9	22 35.5	46 74.2	6 9.7	0 0.0	2 3.2	2 3.2	5 8.1
【遠州地域在住】40-79歳女性	63 100.0	6 9.5	24 38.1	43 68.3	9 14.3	0 0.0	1 1.6	4 6.3	13 20.6
【東三河・南信州地域在住】18-39歳男性	62 100.0	14 22.6	47 75.8	30 48.4	3 4.8	1 1.6	1 1.6	5 8.1	3 4.8
【東三河・南信州地域在住】40-79歳男性	63 100.0	6 9.5	47 74.6	20 31.7	14 22.2	0 0.0	2 3.2	8 12.7	5 7.9
【東三河・南信州地域在住】18-39歳女性	62 100.0	7 11.3	46 74.2	24 38.7	3 4.8	0 0.0	4 6.5	3 4.8	6 9.7
【東三河・南信州地域在住】40-79歳女性	63 100.0	9 14.3	47 74.6	21 33.3	4 12.7	0 0.0	1 1.6	4 6.3	9 14.3

表3 プロ野球観戦

	n	全くない	はある 行ったと している	たまに行 っている	定期的 に行 っている
【遠州地域在住】18-39歳男性	62 100.0	12 19.4	35 56.5	12 19.4	3 4.8
【遠州地域在住】40-79歳男性	63 100.0	8 12.7	44 69.8	7 11.1	4 6.3
【遠州地域在住】18-39歳女性	62 100.0	24 38.7	29 46.8	6 9.7	3 4.8
【遠州地域在住】40-79歳女性	63 100.0	14 22.2	41 65.1	6 9.5	2 3.2
【東三河・南信州地域在住】18-39歳男性	62 100.0	4 6.5	36 58.1	9 14.5	13 21.0
【東三河・南信州地域在住】40-79歳男性	63 100.0	1 1.6	35 55.6	20 31.7	7 11.1
【東三河・南信州地域在住】18-39歳女性	62 100.0	9 14.5	37 59.7	10 16.1	6 9.7
【東三河・南信州地域在住】40-79歳女性	63 100.0	3 4.8	49 77.8	8 12.7	3 4.8

表4 プロサッカー観戦

	n	全くない	はある 行ったと している	たまに行 っている	定期的 に行 っている
【遠州地域在住】18-39歳男性	62 100.0	13 21.0	27 43.5	11 17.7	11 17.7
【遠州地域在住】40-79歳男性	63 100.0	20 31.7	29 46.0	9 14.3	5 7.9
【遠州地域在住】18-39歳女性	62 100.0	7 11.3	37 59.7	13 21.0	5 8.1
【遠州地域在住】40-79歳女性	63 100.0	20 31.7	32 50.8	7 11.1	4 6.3
【東三河・南信州地域在住】18-39歳男性	62 100.0	25 40.3	24 38.7	8 12.9	5 8.1
【東三河・南信州地域在住】40-79歳男性	63 100.0	37 58.7	18 28.6	3 4.8	5 7.9
【東三河・南信州地域在住】18-39歳女性	62 100.0	32 51.6	22 35.5	5 8.1	3 4.8
【東三河・南信州地域在住】40-79歳女性	63 100.0	38 60.3	21 33.3	3 4.8	1 1.6

表5 プロバスケットボール観戦

	n	全くない	はある 行ったと している	たまに行 っている	定期的 に行 っている
【遠州地域在住】18-39歳男性	62 100.0	50 80.6	9 14.5	0 0.0	3 4.8
【遠州地域在住】40-79歳男性	63 100.0	55 87.3	7 11.1	0 0.0	1 1.6
【遠州地域在住】18-39歳女性	62 100.0	44 71.0	16 25.8	1 1.6	1 1.6
【遠州地域在住】40-79歳女性	63 100.0	53 84.1	7 11.1	0 0.0	3 4.8
【東三河・南信州地域在住】18-39歳男性	62 100.0	52 83.9	6 9.7	1 1.6	3 4.8
【東三河・南信州地域在住】40-79歳男性	63 100.0	56 88.9	5 7.9	2 3.2	0 0.0
【東三河・南信州地域在住】18-39歳女性	62 100.0	46 74.2	13 21.0	2 3.2	1 1.6
【東三河・南信州地域在住】40-79歳女性	63 100.0	56 88.9	7 11.1	0 0.0	0 0.0

また、「あなたの行ったことがあるプロスポーツ観戦経験と頻度」の質問項目に対して、「東三河・南信地域」は「プロ野球観戦」を「たまに行っている」または「定期的に行っている」と答えた割合が比較的高く、「遠州地域」は、「プロサッカー観戦」を「たまに

行っている」または「定期的に行っている」と答えた割合が比較的高い傾向にあった（表3と表4参照）。この結果は、笹川スポーツ財団の「スポーツライフ・データ 2014」の調査データと比較しても、「遠州地域」におけるプロサッカー人気と直接観戦率の高さには注目できる。同調査データによると、2014年のテレビによるスポーツ観戦率は、プロ野球（NPB）が59.4%、Jリーグが26.3%であり、またスタジアムにおける直接観戦率においても、プロ野球（NPB）が15.8%で最も高く、Jリーグが5.5%であった。この結果と比較しても「遠州地域」のプロサッカー人気とテレビとスタジアムにおける観戦率は高い水準であることがいえる。なお、プロバスケットボール観戦に関しては、両地域において特に差が見られなかった（表5参照）。調査の結果から、先述のように愛知県にはプロ野球の「中日ドラゴンズ」が存在し、1年に1、2回は東三河地域で試合が行われているが、プロサッカーのJリーグは東三河地域では試合が行われていないことや、静岡県はサッカーが盛んな地域であり、県内に複数のJリーグチームが存在することなどから、遠州地域においては、東三河・南信地域と比べ、プロサッカーが好き、またプロサッカーの観戦経験や習慣のある割合が高くなったと推察できる。また、東三河の立地からすると名古屋方面まで行くには時間がかかることも影響していると考えられた。例えば、東三河地域の観戦頻度を増加させるためには、神野（2008）によると「ロイヤリティと観戦回数は有意な正の相関関係にあり、観戦者のロイヤリティ・レベルを高めていくことは観戦回数、すなわち将来的な観戦行動へと繋がる」とされていることから、東三河地域でも観戦者のロイヤリティ・レベルを高められるような戦略が必要とされる。

（3）好きなプロスポーツチームと観戦経験の分析

「あなたの最も好きなプロスポーツチームを一つ選択する」項目に対して、「東三河・南信地域」は最も多かったのは「中日ドラゴンズ」の145人であり、その次の「名古屋グランパスエイト」が22人、「ジュビロ磐田」が9人、「清水エスパルス」が7人という結果になった。その一方、「遠州地域」で最も多かったのは「ジュビロ磐田」の120人であり、その次が「中日ドラゴンズ」の32人、「清水エスパルス」30人、「名古屋グランパスエイト」5人の順であった（表6参照）。この結果から、東三河地域においては、プロ野球の「中日ドラゴンズ」のファンが最も多く、その次が愛

知県を本拠地とするJリーグ「名古屋グランパスエイト」であったが、静岡県を本拠地とする「ジュビロ磐田」や「清水エスパルス」のファンもそれなりに存在することが明らかになった（表6参照）。そして、フットサルの「名古屋オーシャンズ」や「アグレミーナ浜松」が1人、bjリーグの「浜松・東三河フェニックス」と答えた人は16人であり、比較的人気や知名度が低いプロスポーツチームの数値が低い結果になった。

また、「そのチームのスポーツ観戦に行ったことがありますか」の項目に対して、「行ったことがない」が68人、「行ったことがあるが、今は行かない」が257人、「たまに行く」が107人、「定期的に行っている」が68人であった。この結果から、「行ったことがあるが、今は行かない」と答えた人が過半数を超えていることが明らかになった（表7参照）。

表6 最も好きなプロスポーツチームを一つ選択して下さい

	n	中日ドラゴンズ	名古屋グランパスエイト	名古屋オーシャンズ	ジュビロ磐田	清水エスパルス	横浜FC	アグレミーナ浜松	浜松・東三河フェニックス	信濃フットボールクラブ	信濃フットボールクラブ	長野フットボールクラブ	長野フットボールクラブ	松本山雅FC	その他のチーム
【遠州地域在住】	62	12	3	1	27	7	0	1	2	0	0	0	0	0	9
18-39 歳男性	100.0	19.4	4.8	1.6	43.5	11.3	0.0	1.6	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.5
【遠州地域在住】	63	9	0	0	27	9	0	0	2	0	0	0	0	0	16
40-79 歳男性	100.0	14.3	0.0	0.0	42.9	14.3	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.4
【遠州地域在住】	62	5	1	0	33	5	0	0	6	0	0	0	0	0	12
18-39 歳女性	100.0	8.1	1.6	0.0	53.2	8.1	0.0	0.0	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.4
【遠州地域在住】	63	6	1	0	33	9	0	0	1	0	0	0	0	0	13
40-79 歳女性	100.0	9.5	1.6	0.0	52.4	14.3	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.6
【東三河、南信州地域在住】	62	32	9	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	3	14
18-39 歳男性	100.0	51.6	14.5	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	22.6
【東三河、南信州地域在住】	63	36	7	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	16
40-79 歳男性	100.0	57.1	11.1	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	25.4
【東三河、南信州地域在住】	62	38	4	1	3	2	0	0	3	1	0	0	0	0	10
18-39 歳女性	100.0	61.3	6.5	1.6	4.8	3.2	0.0	0.0	4.8	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.1
【東三河、南信州地域在住】	63	39	2	1	4	3	0	0	0	1	0	0	0	2	11
40-79 歳女性	100.0	61.9	3.2	1.6	6.3	4.8	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	3.2	17.5

表7 そのチームのスポーツ観戦に行ったことはありますか

	n	行ったことがない	行ったことがあるが、今は行かない	たまに行く	定期的に行っている（年1回程度以上）
【遠州地域在住】	62	8	18	24	12
18-39 歳男性	100.0	12.9	29.0	38.7	19.4
【遠州地域在住】	63	9	37	11	6
40-79 歳男性	100.0	14.3	58.7	17.5	9.5
【遠州地域在住】	62	7	33	13	9
18-39 歳女性	100.0	11.3	53.2	21.0	14.5
【遠州地域在住】	63	14	37	8	4
40-79 歳女性	100.0	22.2	58.7	12.7	6.3
【東三河、南信州地域在住】	62	6	31	12	13
18-39 歳男性	100.0	9.7	50.0	19.4	21.0
【東三河、南信州地域在住】	63	6	32	13	12
40-79 歳男性	100.0	9.5	50.8	20.6	19.0
【東三河、南信州地域在住】	62	9	31	15	7
18-39 歳女性	100.0	14.5	50.0	24.2	11.3
【東三河、南信州地域在住】	63	9	38	11	5
40-79 歳女性	100.0	14.3	60.3	17.5	7.9

(4) そのチームについてどう思っているかについて

表8での「これからもっとそのチームの観戦に行きたい」という項目においては、遠州地域の18歳～39歳の男性グループが他のグループと比べ、「当てはまる」と「非常に当てはまる」と答えた割合が78%で最も高く、「東三河・南信地域」よりもやや高い割合であることが見て取れた。また、表9の「そのチームは地域に根付いている」の項目においては、全体的に「遠州地域」の回答者が「東三河・南信地域」の回答者より「当てはまる」と「非常に当てはまる」と答えた割合がやや高い傾向にあることが見て取れたが、特に注目するような違いは見られなかった。また、表10の「そのチームは地域に貢献している」という項目においては、全体的に「遠州地域」の回答者が「当てはまる」と「非常に当てはまる」と答えた割合が「東三河・南信地域」の回答者より高い傾向にあることが見て取れた。さらに、表11の「そのチームに対して愛着を持っている」の項目においても「遠州地域」の回答者が「東三河・南信地域」の回答者より、「当てはまる」と「非常に当てはまる」と答えた割合がやや高い傾向にあることが見て取れた（表8～11参照）。

この結果は、「遠州地域」の回答者は「東三河・南信地域」の回答者よりJリーグを想定して答えた割合が高いことから、Jリーグの百年構想や地域密着、ホームタウン活動などの理念や活動が「遠州地域」においてより浸透していることと推察できる。従来のプロ野球はJリーグより長い歴史を持っているが、新聞社の広告塔や新聞記事の創造などのメディア・コンテンツとしての意味合いが強かったことから、地域密着やホームタウン活動についてはそれほど重視して来なかった影響ではないかと推測できた。

表8 これからもっとそのチームの観戦に行きたい

	n	全く当てはまらない	当てはまらない	どちらでもない	当てはまる	非常に当てはまる
【遠州地域在住】18-39歳男性	54 100.0	1 1.9	3 5.6	9 16.7	30 55.6	11 20.4
【遠州地域在住】40-79歳男性	54 100.0	1 1.9	5 9.3	21 38.9	21 38.9	6 11.1
【遠州地域在住】18-39歳女性	55 100.0	1 1.8	6 10.9	14 25.5	27 49.1	7 12.7
【遠州地域在住】40-79歳女性	49 100.0	0 0.0	8 16.3	13 26.5	25 51.0	3 6.1
【東三河、南信州地域在住】18-39歳男性	56 100.0	0 0.0	3 5.4	16 28.6	25 44.6	12 21.4
【東三河、南信州地域在住】40-79歳男性	57 100.0	2 3.5	2 3.5	15 26.3	29 50.9	9 15.8
【東三河、南信州地域在住】18-39歳女性	53 100.0	0 0.0	3 5.7	11 20.8	29 54.7	10 18.9
【東三河、南信州地域在住】40-79歳女性	54 100.0	1 1.9	3 5.6	16 29.6	29 53.7	5 9.3

表9 そのチームは地域に根付いている

	n	全く当てはまらない	当てはまらない	どちらでもない	当てはまる	非常に当てはまる
【遠州地域在住】18-39歳男性	54 100.0	1 1.9	3 5.6	7 13.0	29 53.7	14 25.9
【遠州地域在住】40-79歳男性	54 100.0	1 1.9	8 14.8	12 22.2	26 48.1	7 13.0
【遠州地域在住】18-39歳女性	55 100.0	3 5.5	6 10.9	6 10.9	30 54.5	10 18.2
【遠州地域在住】40-79歳女性	49 100.0	1 2.0	4 8.2	5 10.2	24 49.0	15 30.6
【東三河、南信州地域在住】18-39歳男性	56 100.0	0 0.0	7 12.5	13 23.2	22 39.3	14 25.0
【東三河、南信州地域在住】40-79歳男性	57 100.0	2 3.5	6 10.5	9 15.8	29 50.9	11 19.3
【東三河、南信州地域在住】18-39歳女性	53 100.0	1 1.9	4 7.5	11 20.8	29 54.7	8 15.1
【東三河、南信州地域在住】40-79歳女性	54 100.0	5 9.3	0 0.0	7 13.0	31 57.4	11 20.4

表10 そのチームは地域に貢献している

	n	全く当てはまらない	当てはまらない	どちらでもない	当てはまる	非常に当てはまる
【遠州地域在住】18-39歳男性	54 100.0	2 3.7	0 0.0	10 18.5	32 59.3	10 18.5
【遠州地域在住】40-79歳男性	54 100.0	1 1.9	8 14.8	15 27.8	22 40.7	8 14.8
【遠州地域在住】18-39歳女性	55 100.0	3 5.5	5 9.1	10 18.2	28 50.9	9 16.4
【遠州地域在住】40-79歳女性	49 100.0	1 2.0	3 6.1	10 20.4	23 46.9	12 24.5
【東三河、南信州地域在住】18-39歳男性	56 100.0	0 0.0	5 8.9	17 30.4	23 41.1	11 19.6
【東三河、南信州地域在住】40-79歳男性	57 100.0	2 3.5	6 10.5	13 22.8	27 47.4	9 15.8
【東三河、南信州地域在住】18-39歳女性	53 100.0	1 1.9	5 9.4	13 24.5	28 52.8	6 11.3
【東三河、南信州地域在住】40-79歳女性	54 100.0	4 7.4	1 1.9	10 18.5	30 55.6	9 16.7

表11 そのチームに愛着を強く持っている

	n	全く当てはまらない	当てはまらない	どちらでもない	当てはまる	非常に当てはまる
【遠州地域在住】18-39歳男性	54 100.0	2 3.7	0 0.0	10 18.5	26 48.1	16 29.6
【遠州地域在住】40-79歳男性	54 100.0	1 1.9	1 1.9	10 18.5	33 61.1	9 16.7
【遠州地域在住】18-39歳女性	55 100.0	1 1.8	3 5.5	10 18.2	30 54.5	11 20.0
【遠州地域在住】40-79歳女性	49 100.0	0 0.0	3 6.1	8 16.3	27 55.1	11 22.4
【東三河、南信州地域在住】18-39歳男性	56 100.0	0 0.0	3 5.4	13 23.2	26 46.4	14 25.0
【東三河、南信州地域在住】40-79歳男性	57 100.0	2 3.5	1 1.8	12 21.1	27 47.4	15 26.3
【東三河、南信州地域在住】18-39歳女性	53 100.0	0 0.0	2 3.8	11 20.8	30 56.6	10 18.9
【東三河、南信州地域在住】40-79歳女性	54 100.0	1 1.9	1 1.9	8 14.8	33 61.1	11 20.4

5. 結論

本研究の目的は、越境地域（三遠南信地域）のプロスポーツ市場の現状を把握するための基礎的なデータを得ることを目的とした。調査の結果、「好きなプロスポーツ」は、「遠州地域」はプロサッカーの割合が比較的高く、「東三河・南信地域」はプロ野球の割合が高かった（表1）。「テレビで視聴するプロスポーツ」に対しても、「東三河・南信地域」は「プロ野球」と答えた割合が比較的高く、「遠州地域」は「プロサッカー」と答えた割合が比較的高い傾向にあった（表2参照）。「プロスポーツ観戦経験と頻度」においても、「東三河・南信地域」は「プロ野球観戦」を「たまに行っている」または「定期的に行っている」と答えた割合が比較的高く、「遠州地域」は、「プロサッカー観戦」と答えた割合が比較的高い傾向にあった（表3と表4参照）。この結果は、「スポーツライフ・データ2014」のデータと比較しても、「遠州地域」におけるプロサッカー人気と直接観戦率の高さには注目できるものであった。

また、「最も好きなプロスポーツチーム」の項目に対して、「東三河・南信地域」は「中日ドラゴンズ」が145人であり、その次に「名古屋グランパスエイト」が22人、「ジュビロ磐田」が9人、「清水エスパルス」が7人という結果になった。その一方、「遠州地域」で最も多かったのは「ジュビロ磐田」の120人であり、その次に「中日ドラゴンズ」の32人、「清水エスパルス」30人、「名古屋グランパスエイト」5人の順であった（表6参照）。この結果から、東三河地域においては、プロ野球の中日ドラゴンズのファンが最も多く、その次が愛知県を本拠地とするJリーグ名古屋グランパスエイトであったが、静岡県を本拠地とする「ジュビロ磐田」や「清水エスパルス」のファンもそれなりに存在することが明らかになった。また、「そのチームのスポーツ観戦に行ったことがあるか」の項目においては、「行ったことがあるが、今は行かない」と答えた人が過半数を超えていることが明らかになった（表7参照）。次に、「これからもっとそのチームの観戦に行きたい」という項目においては、遠州地域の18歳～39歳の男性グループが他のグループと比べ、「当てはまる」と「非常に当てはまる」と答えた割合が78%で最も高く、「そのチームは地域に根付いている」の項目においては、全体的に「遠州地域」の回答者が「東三河・南信地域」の回答者より「当てはまる」と「非常に当てはまる」と答えた割合がやや高い傾向にある

ことが見て取れた。さらに、「そのチームは地域に貢献している」という項目においては、全体的に「遠州地域」の回答者が「当てはまる」と「非常に当てはまる」と答えた割合が「東三河・南信地域」の回答者より高い傾向にあることが見て取れた。なお、「そのチームに対して愛着を持っている」の項目においても「遠州地域」の回答者が「東三河・南信地域」の回答者より、「当てはまる」と「非常に当てはまる」と答えた割合がやや高い傾向にあることが見て取れた（表8～11参照）。この結果は、「遠州地域」の回答者は「東三河・南信地域」の回答者よりJリーグを想定して答えた割合が高いことから、Jリーグの百年構想や地域密着、ホームタウン活動などの理念や活動が「遠州地域」においてより浸透していることと推察できた。

謝辞

本研究で用いた調査データは「2013年度越境地域研究助成」の調査データを用いたものである。

参考文献

- 1) 田島良輝・神野賢治・糸川雅子（2008）「地域プロスポーツクラブの観戦行動モデル構築に関する調査研究」、『金沢星稜大学総合研究所 [編集]』、No.28、2008
- 2) 神野賢治・田島良輝・岡野紘二（2008）「地域プロサッカークラブの観戦者に関する調査研究—ツエーゲン金沢のホームゲーム観戦者を事例として」、『金沢星稜大学人間科学研究—』、1巻1号
- 3) 藤本淳也・原田宗彦・松岡宏高（1996）「プロスポーツ観戦回数に影響を及ぼす要因に関する研究」、『大阪体育大学紀要』、1巻
- 4) 笹川スポーツ財団「スポーツライフ・データ2014」（株）日本パブリシティ